

代表質問



勝山高校の
入学希望者減対策を

市議会代表

近藤 栄 紀 が問う

勝山高校存続と 中学再編について

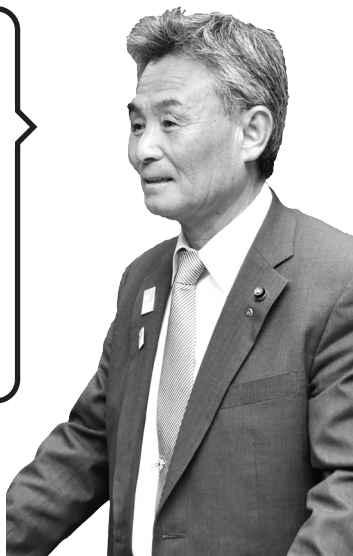
Q 勝山高校の入学希望者減の結果をどのように考えるか。また、中学校再編は1校に統合し、勝山高校周辺案が将来の勝山高校存続のためには最善であると考えているが見解を伺う。

A 近年における市内中学卒業生の勝山高校への進学割合は、概ね55%程度で推移してきたが、一昨年と昨年は50%台前半となり、今年度の志願者数はさらに大きく低下している。この

進学者数減に対して、高校と中学校の校長、教育委員会で構成する協議会で対策について様々な協議を重ねてきた。特に、勝山高校における習熟度別のきめ細やかな教育システムや学校生活での魅力、また地元高校へ通う時間的・経済的メリットなどについて、しっかり中学生に理解してもらうことが肝要との観点で、高校からのプレゼンテーションを効果的に行うこと、中学校では生徒一人ひとりと保護者に十分に説明することを申し合わせて実行・努力してきた。しかし、生徒それぞれの進路目標に対する想いが固く、勝山高校の定員割れが続く中でも、特に今年の志願者数には大きな衝撃を受けている。今後さらに対策を検討する必要があると認識している。中学校再編との関連性も含め、県に對し真剣な検討と早急な対策が講じられるよう強く要請していきたい。

〔その他の質問〕

- 平成31年度当初予算について
- 勝山ニューホテルの今後について
- 新規ホテルの誘致について
- 農業振興について
- 人事異動に伴う事務引継ぎについて



早急なインフラ整備計画を

立志会代表

吉田 清 隆 が問う

公共施設等総合管理 計画について

Q 平成31年度当初予算で施設の人件費を除く維持管理費は、庁舎関係が、年間約2億9840万円で、1㎡当たり約3100円かかり、小学校は年間約8億4100万円で1㎡当たり約2190円、中学校は5億1400万円で、1㎡当たり約2580円となる。

勝山市には橋が331基あり、今後20年間には橋梁の老朽化が急速に進む。市道の舗装総面積は約242万㎡で、全て改修するには約113億7400万円がかかる。水道管の更新も多大な費用が見込まれる。建物の廃止や複合化は可能だが、インフラの廃止や複合化は生活基盤がある以上できない。

インフラ整備に向けた取り組み計画について
伺う。

A インフラ施設は以前より各所管省庁から長寿命化計画を策定するよう指導を受けており、その指導に基づき計画を策定している。ご指摘のように、インフラ施設は、それを日々利用している市民の方がいる限り削減することができない性質のもので、その機能を維持していくことを前提として長寿命化計画を策定している。今後も施設ごとに策定した長寿命化計画等に基づき適正な整備を行っていく。

〔その他の質問〕

- 解体建物を利用した防災訓練と消防団の機材拡充について
- 勝山市のPRについて
- 男女混合名簿とLGBTについて



民生委員・児童委員の負担軽減策は

創政会・公明代表

松山 信 裕 が問う

SDGsの推進について

Q SDGs「持続可能な開発目標」は、自治体において重要な課題であり、積極的にまちづくりに反映させなければならないが、31年度の地方創生への取り組みはどのように推進して行くのか。

A これまで、エコミュージウムやジオパークでまちづくりを展開してきたが、これらの考え方、進め方にはSDGsが目指す目標と根底

民生委員・児童委員 について

Q 民生委員・児童委員の方は、地域福祉の推進に寄与するべく、多岐の業務に携わっていただいているが、活動しやすい環境づくりを進めていくための負担軽減の支援策をどのように考えているのか。

A 勝山市では、緊急性のある個別事案について、民生委員・児童委員と情報を共有し早期に対処できるよう、環境整備に努めている。また、民生委員・児童委員から、気がかりな情報を得た時は、各担当職員が、家庭訪問や状況を把握し、関係機関につなげるなど、民生委員・児童委員が一人で抱え込まないように支援をしている。

今後も、業務量の負担軽減と業務自体が精神的負担にならないよう、活動を支援していく。

〔その他の質問〕

- 観光戦略について
- まちづくりについて
- 桜、街路樹等の管理と課題について